

## ～命を守る学習～

### 9月28日（土） セーフティ教室

今日は、インターネットのことを中心に話を聞きました。スマートフォンやゲーム機を使うと、簡単にインターネットにアクセスすることができます。

話の中で、こんなカードが出てきました。

わたし・・・小4 好きなこと・・・ダンス 友達になりませんか

みんなはどう思う？と聞かれ、ほとんどの子が違うと思うと反応していました。でも、見えない相手なので本当かどうか確かめることはできません。

もし、小4の女の子でなかった場合は、「なりすまし」になるのです。

次に、メッセージ交換アプリでの話がありました。

- ・簡単にメッセージを送れる。→でも、相手はいつでも使えるとは限らない。
- ・文字だけを読むと思いがうまく伝わらない  
かわいくない？（可愛いと思っている）でも、読んだ相手は可愛くないと思う  
→気持ちのすれ違いが起こってしまう。
- ・顔写真を送る。→悪意のある人にわたると個人情報広がる可能性がある。  
一度インターネットで広がったものは世界中に広がり消去できない  
インターネットを利用する人は、いろんな考えを持っています。そして、いい人ばかりとは限りません。世界中の人が見ることができるのです。

### インターネットの使用で気を付けること

1. 人の悪口は絶対に書かない
2. ネットで知り合った人と絶対に会わない
3. 自分や友達の名前、住所、学校名など書きこまない

分からないだろうと思ってやったことでも、調べれば誰がやったかわかるんですよとのことでした。

最後に携帯電話の家庭でルールを作ること、また、家のルールを友達に伝えておくことが大切ということでした。

## 10月7日（月） 起震車体験

今日は、避難訓練の後に起震車体験をしました。起震車では、震度7まで体験することができます。

起震車の中は避難するための机が一つだけです。震度7だとかなり体が揺れ、机に頭をぶつけそうになった子もいます。

安全のため、起震車の机には、何も置いてありませんでしたが、実際の生活の場面では、うまく避難することができないことを感じていました。



最後に、消防署の方から、停電に関する話がありました。普段の生活の中で、明かりのない時間をゲームのようにして体験すること

例えば・・・

- 部屋の電気をすべて消して、ろうそくの明かりで過ごす
- 懐中電灯やヘッドライトの明かりだけで過ごす。
- ヘッドライトを付けて移動する。

など

こういう経験が、いざというときの役に立つことを教えてもらいました。